

(13) 宿根かすみそう

病害虫	防除法	参考事項
うどんこ病	(薬剤防除) 農薬登録情報	
	1 微生物農薬	
	薬剤名	
	アグロケア水和剤	
	2 下記薬剤のいずれかを処理する。	
	薬剤名	備考
	アフエットフロアブル	
	アンビルフロアブル	
	カリグリーン	肥料効果あり。展着剤必須。
	サブロール乳剤/セーフガード乳剤	
	サンヨール	アブラムシ類、ハダニ類にも登録あり。
	ショウチノスケフロアブル	
	ダコニール1000	花卉の着色期以降に薬害あり。
	トリフミン水和剤	
	パレード20フロアブル	
	パンチョTF顆粒水和剤	
	パンチョTFジェット	
	ピリカット乳剤	アブラムシ類にも登録あり。
	フルビカフロアブル	
	ポリオキシシンAL水溶剤	宿根かすみそうに薬害あり。 ハダニ類、アザミウマ類にも登録あり。
モレスタン水和剤	開花中の花卉に薬害あり。	
疫病	(耕種的・物理的防除)	
	1 排水の悪い場所では栽培しない。	
	2 ベッドをやや高うねにして、株元が乾く栽培をする。	
	3 高温時に発生しやすいので、ハウスを高温にしない。	
	4 発病株は丁寧に抜き取る。	
	(薬剤防除) 農薬登録情報	
	薬剤名	備考
	オラクル顆粒水和剤	ポット・プランター等の容器栽培
	オロンディスウルトラSC	
	ユニフォーム粒剤	ポット・プランター等の容器栽培
リドミル粒剤2		
こぶ病	(耕種的・物理的防除)	
	1 無病苗を用いる。	
	2 発病ほ場の親株から挿し芽を採らない。	

病害虫	防除法	参考事項																															
アブラムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 気門封鎖剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>エコビタ液剤</td><td></td></tr><tr><td>ムシラップ</td><td>発生初期</td></tr></tbody></table> 2 自然くん煙 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>マブリックジェット</td></tr><tr><td>モスピランジェット</td></tr></tbody></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布又は処理する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td></tr><tr><td>オンコル粒剤 1</td></tr><tr><td>アクタラ粒剤 5</td></tr><tr><td>アドマイヤー 1 粒剤</td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td></tr><tr><td>ベストガード粒剤</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td></tr><tr><td>マラソン乳剤</td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td></tr><tr><td>アーデントフロアブル</td></tr><tr><td>スカウトフロアブル</td></tr><tr><td>ロディー乳剤</td></tr><tr><td>ロビンフッド</td></tr><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr><tr><td>ベストガード水溶剤</td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td></tr><tr><td>チェス顆粒水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	エコビタ液剤		ムシラップ	発生初期	薬剤名	マブリックジェット	モスピランジェット	薬剤名	オルトラン粒剤	オンコル粒剤 1	アクタラ粒剤 5	アドマイヤー 1 粒剤	ダントツ粒剤	ベストガード粒剤	スタークル/アルバリン粒剤	オルトラン水和剤	マラソン乳剤	アディオン乳剤	アーデントフロアブル	スカウトフロアブル	ロディー乳剤	ロビンフッド	アドマイヤーフロアブル	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	ダントツ水溶剤	ベストガード水溶剤	モスピラン顆粒水溶剤	コルト顆粒水和剤	チェス顆粒水和剤	○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法の項を参照する。
薬剤名	備考																																
エコビタ液剤																																	
ムシラップ	発生初期																																
薬剤名																																	
マブリックジェット																																	
モスピランジェット																																	
薬剤名																																	
オルトラン粒剤																																	
オンコル粒剤 1																																	
アクタラ粒剤 5																																	
アドマイヤー 1 粒剤																																	
ダントツ粒剤																																	
ベストガード粒剤																																	
スタークル/アルバリン粒剤																																	
オルトラン水和剤																																	
マラソン乳剤																																	
アディオン乳剤																																	
アーデントフロアブル																																	
スカウトフロアブル																																	
ロディー乳剤																																	
ロビンフッド																																	
アドマイヤーフロアブル																																	
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																	
ダントツ水溶剤																																	
ベストガード水溶剤																																	
モスピラン顆粒水溶剤																																	
コルト顆粒水和剤																																	
チェス顆粒水和剤																																	

病害虫	防除法	参考事項																																														
アザミウマ類	・ 共通防除の章のアザミウマ類の防除の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネットを展張する。育苗期の被覆も有効である。ほぼ完全に侵入を阻止するには、目合い 0.4mm 以下の防虫ネットが必要である。 2 ほ場周辺の雑草を除去する。 3 粘着テープにより成虫を誘殺する。本種は特に青色に誘引される。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物農薬 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スワルスキー</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>スワルスキープラス</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>リモニカ</td><td>施設のみの登録</td></tr></tbody></table> 2 キルパーを用いた病害虫まん延防止 (共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項の「キルパーを用いた前作の古株枯死、病害虫まん延防止」を参照) (農薬登録情報) <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>キルパー</td><td>前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録</td></tr></tbody></table> 3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オンコル粒剤 5</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>スミチオン乳剤</td><td>宿根かすみそう開花期に薬害を生じるおそれがある。</td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td><td>ミカンキイロアザミウマで登録</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>アグリメック</td><td></td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>ディアナ S C</td><td></td></tr><tr><td>カウンター乳剤</td><td></td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td><td>ミカンキイロアザミウマで登録</td></tr><tr><td>ハチハチフロアブル</td><td></td></tr></tbody></table>	薬剤名	備考	スワルスキー	施設のみの登録	スワルスキープラス	施設のみの登録	リモニカ	施設のみの登録	薬剤名	備考	キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オンコル粒剤 5		ダントツ粒剤		オルトラン水和剤		スミチオン乳剤	宿根かすみそう開花期に薬害を生じるおそれがある。	トクチオン乳剤		アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録	ダントツ水溶剤		モスピラン顆粒水溶剤		アグリメック		アフーム乳剤		スピノエース顆粒水和剤		ディアナ S C		カウンター乳剤		コテツフロアブル	ミカンキイロアザミウマで登録	ハチハチフロアブル		○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 アザミウマの生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名	備考																																															
スワルスキー	施設のみの登録																																															
スワルスキープラス	施設のみの登録																																															
リモニカ	施設のみの登録																																															
薬剤名	備考																																															
キルパー	前作の野菜類又は花き類・観葉植物のアザミウマ類まん延防止で登録																																															
薬剤名	備考																																															
オルトラン粒剤																																																
オンコル粒剤 5																																																
ダントツ粒剤																																																
オルトラン水和剤																																																
スミチオン乳剤	宿根かすみそう開花期に薬害を生じるおそれがある。																																															
トクチオン乳剤																																																
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキイロアザミウマで登録																																															
ダントツ水溶剤																																																
モスピラン顆粒水溶剤																																																
アグリメック																																																
アフーム乳剤																																																
スピノエース顆粒水和剤																																																
ディアナ S C																																																
カウンター乳剤																																																
コテツフロアブル	ミカンキイロアザミウマで登録																																															
ハチハチフロアブル																																																

病害虫	防除法	参考事項																			
シロイチモジ ヨトウ	・ 共通防除の章のシロイチモジヨトウの防除の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 捕殺に努める。 2 成虫は長距離移動する場合があるため、周辺の発生ほ場からの飛来も十分考えられる。したがって、施設などでは防虫網を設置し、成虫の侵入を防止する。 3 交信かく乱剤（下表）を活用した防除を行う。 (薬剤防除) 農薬登録情報【シロイチモジヨトウ】・【ヨトウムシ類】 1 本種は薬剤抵抗性が発達しており有効薬剤は非常に少なく、また幼虫は2齢になると、ねぎなどでは葉に穴を空け葉内に潜り込んで食害するため、薬剤散布を実施する場合も散布適期が非常に短い。そのため、ほ場での発生をよく観察し、幼虫のふ化に合わせて薬剤散布を実施しなければならない。 2 交信かく乱剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>ヨトウコンーS</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td></tr></table> 3 若齢幼虫期のうちに、下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>オルトラン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ノーモルト乳剤</td><td></td></tr><tr><td>ロムダンフロアブル</td><td>シロイチモジヨトウで登録</td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td><td></td></tr></table>	薬剤名	ヨトウコンーS	コンフューザーV	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オルトラン水和剤		アディオン乳剤		アフーム乳剤		ノーモルト乳剤		ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録	コテツフロアブル		
薬剤名																					
ヨトウコンーS																					
コンフューザーV																					
薬剤名	備考																				
オルトラン粒剤																					
オルトラン水和剤																					
アディオン乳剤																					
アフーム乳剤																					
ノーモルト乳剤																					
ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録																				
コテツフロアブル																					
ナスハモグリ バエ	・ 共通防除の章のハモグリバエ類の防除の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 薬剤防除のみでは防除が困難であるため、耕種的・物理的防除法も組み合わせる。 2 成虫は黄色に強く誘引される性質があるので、黄色粘着板を用いて発生をモニタリングし、初期防除を徹底する。 3 成虫の侵入を防止するため、施設開口部には防虫ネットを設置する。また、紫外線カットフィルムの利用も有効である。 4 ほ場周辺部の雑草などにも寄生するので、特にキク科雑草を除去する等、ほ場衛生に努める。 5 収穫後の被害残さは発生源となるので、土中に埋設するか、ビニール被覆し熱処理を行う。 6 収穫終了後、地表の蛹の防除対策として、施設を密閉し土壌表面をビニール等で被覆することにより蒸し込む。水分のある植物がない状態で最低地温 40℃以上が数日続けば、蛹はほぼ死滅し、羽化成虫も1日で死滅する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発生が予想される場合には、スミチオン乳剤又はトクチオン乳剤を散布する。																				

病害虫	防除法	参考事項																																		
ヨトウムシ類	(薬剤防除) 農業登録情報																																			
	1 交信かく乱剤																																			
	<table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>コナガコンープラス</td><td>ヨトウガで登録</td></tr><tr><td>ヨトウコンーS</td><td>シロイチモジヨトウで登録</td></tr><tr><td>ヨトウコンーH</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td><td></td></tr></table>	薬剤名	備考	コナガコンープラス	ヨトウガで登録	ヨトウコンーS	シロイチモジヨトウで登録	ヨトウコンーH	ハスモンヨトウで登録	コンフューザーV																										
	薬剤名	備考																																		
	コナガコンープラス	ヨトウガで登録																																		
	ヨトウコンーS	シロイチモジヨトウで登録																																		
	ヨトウコンーH	ハスモンヨトウで登録																																		
	コンフューザーV																																			
	2 若齢幼虫のうちに、下記薬剤のいずれかを散布する。																																			
	<table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>オルトラン粒剤</td><td></td></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>トクチオン乳剤</td><td>ヨトウムシで登録</td></tr><tr><td>アディオン乳剤</td><td>ヨトウムシで登録</td></tr><tr><td>トレボン乳剤</td><td>ヨトウムシで登録</td></tr><tr><td></td><td>シロイチモジヨトウで登録</td></tr><tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>ヨーバルフロアブル</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td><td></td></tr><tr><td>スカウトフロアブル</td><td>ヨトウムシで登録</td></tr><tr><td>ノーモルト乳剤</td><td></td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>ロムダンフロアブル</td><td>シロイチモジヨトウで登録</td></tr><tr><td></td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td><td></td></tr><tr><td>プレオフロアブル</td><td>ハスモンヨトウで登録</td></tr></table>	薬剤名	備考	オルトラン粒剤		オルトラン水和剤		トクチオン乳剤	ヨトウムシで登録	アディオン乳剤	ヨトウムシで登録	トレボン乳剤	ヨトウムシで登録		シロイチモジヨトウで登録	フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨトウで登録	ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウで登録	アフーム乳剤		スカウトフロアブル	ヨトウムシで登録	ノーモルト乳剤		マッチ乳剤	ハスモンヨトウで登録	ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録		ハスモンヨトウで登録	コテツフロアブル		プレオフロアブル	ハスモンヨトウで登録	
	薬剤名	備考																																		
	オルトラン粒剤																																			
	オルトラン水和剤																																			
	トクチオン乳剤	ヨトウムシで登録																																		
	アディオン乳剤	ヨトウムシで登録																																		
	トレボン乳剤	ヨトウムシで登録																																		
		シロイチモジヨトウで登録																																		
	フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨトウで登録																																		
	ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウで登録																																		
	アフーム乳剤																																			
	スカウトフロアブル	ヨトウムシで登録																																		
	ノーモルト乳剤																																			
	マッチ乳剤	ハスモンヨトウで登録																																		
	ロムダンフロアブル	シロイチモジヨトウで登録																																		
		ハスモンヨトウで登録																																		
	コテツフロアブル																																			
	プレオフロアブル	ハスモンヨトウで登録																																		

病害虫	防除法	参考事項	
ハダニ類	(薬剤防除) 農業登録情報	○ くん煙剤の使用については、 共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法の項 を参照する。	
	1 気門封鎖剤		
	薬剤名		備考
	エコピタ液剤		
	サフオイル乳剤		
	サンクリスタル乳剤		花卉、苞、葉に薬害を生じるおそれがある。トリアジン水和剤、スルフェン酸系水和剤、キャプタン水和剤及びストロビルリン系剤、T P N (ダコニール等)との混用、近接散布を避ける。
	粘着くん液剤		
	ムシラップ		発生初期
	2 自然くん煙		
	薬剤名		
	テルスタージェット		
	3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。		
	薬剤名		備考
	トクチオン乳剤		
	マラソン乳剤		
	ロディー乳剤		
	マブリック水和剤 2 0		
	アグリメック		
	カネマイトフロアブル		
	コロマイト乳剤		
	ダニオーテフロアブル		銅剤、及び銅を含む製剤との混用不可、近接注意
	ダニコングフロアブル		
	ダニサラバフロアブル		
	ダブルフェースフロアブル		花に薬害を生じる場合がある。
	テデオン乳剤		
	テデオン水和剤		
	ニッソラン水和剤		
バロックフロアブル			
ピラニカ E W			
ペンタック水和剤	施設栽培で登録。開花期に薬害を生じる場合がある。		
コテツフロアブル			
ダニトロンフロアブル			